



2. 市内の消防施設

いろいろな消防の施設をくわしく見てみよう。



火災や事故が起きた場所へ
約5分でかけつけられるように
施設の場所を工夫しているんだ。



救急ワークステーション

救急隊員が交代で研修を行います。
また、市立病院の隣にあるため、
救急現場で医師の手当が必要な時は、
病院の医師とともに出動します。



出張所

市内には41の出張所があります。ここで
勤いている人は全て24時間勤務をしてお
り、消火活動のほか、管内のパトロールや
防火指導などもしています。



「朗礼勇」のモニュメント

札幌市の消防士には大切な
3つのきまりがあります。

- 右「朗」／チームワーク
- 中央「礼」／誰にでも礼儀正しく接すること
- 左「勇」／勇気を持って災害に立ち向かうこと



消防局

119番を受け付ける消防指令
管制センターなど札幌市の消防の仕事を総括する機能があ
ります。中央消防署も同じ建物にあります。

消防署

市内各区に一署ずつ、計10の消防署があり、火災を予防する仕事を専門とする人たちもここで働いています。

消防署のようす

①トレーニング室

トレーニングして身体をきたえます。



消防局石狩ヘリポート

石狩市にあります。消防ヘリコプターがあり、航空隊員が働いています。



③事務室

普段みんなが仕事をするところで
す。たくさんの机やパソコンが並んでいます。

④出動表示盤

区内にある消防車のようすがわかる機械で、パトロールや出動などで車が消防署にいない時は、ランプがつきます。



⑧水防倉庫

洪水に備えて、ボートや動力排水ポンプ、防水シートなどが置かれています。



⑤通信席

出動表示盤の操作をしたり無線を使って出動している消防隊と連絡をとります。

⑥仮眠室

夜間に休む部屋です。出動指令は放送と出動表示盤に表示されます。

⑦ホース乾燥塔

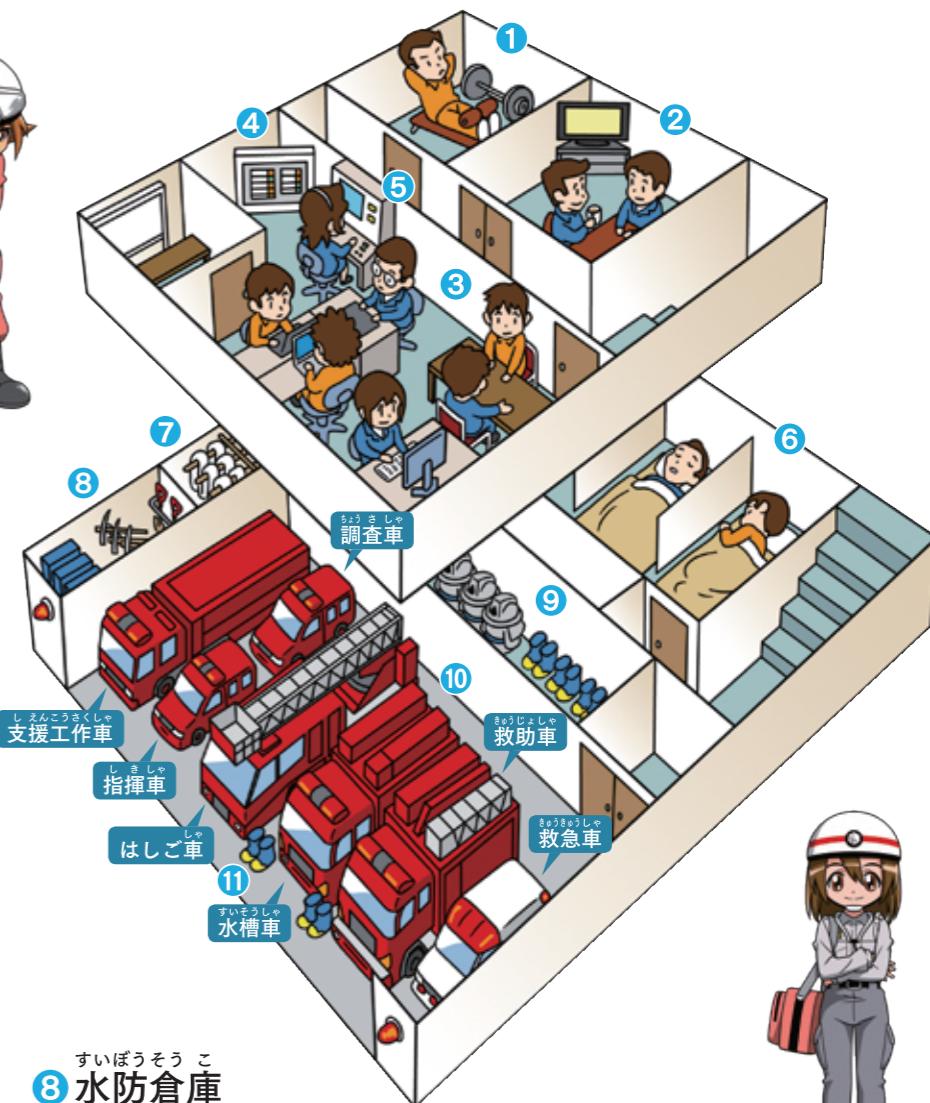
火災現場で使用したホースを乾かします。

⑨物品庫

仕事が休みの隊員の防火衣やヘルメットをしまいます。

②待機室

休憩をしたりご飯を食べたりするところです。もちろんご飯の途中でも出動します。



⑩車庫

いつでも出動できるように、消防車が待機しています。



⑪早く出動する工夫

現場用長靴にズボンをつけています。